

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 理科		科目名 生物基礎		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期期末まで	免疫のはたらき 植生と遷移 植生の分布とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫のはたらきに起因することで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。</li> <li>植生の遷移の過程と、遷移が進行する要因について理解する。</li> <li>世界および日本に見られるバイオームが、気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを理由も含めて説明することができる。</li> <li>遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の樹種が交代する要因について考察し、説明できる。</li> <li>地球の気温が上昇すると、バイオームの垂直分布がどのように変化するかを推測することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業、実験に主体的に取り組み、ディスカッションのときなど、積極的な発現が見られる。</li> <li>植生と遷移に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> <li>植生の分布とバイオームに関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
後期中間まで	生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全 生命の起源と生物の進化 遺伝子の変化と多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系において種多様性が維持されるしくみと生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解する。</li> <li>生命の起源について、化学進化を経て生命が誕生したことを理解する。</li> <li>細胞の進化によって地球環境が変化したり、地球環境の変化が進化に影響したりしてきたことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。</li> <li>最初の生物が地上ではなく海洋中で誕生した理由について考え、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性および生態系のバランスと保全に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> <li>生命の起源と生物の進化に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
学年末まで	遺伝子の組み合わせの変化 進化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の形質の変化が、突然変異によって生じることを理解する。</li> <li>減数分裂・受精を経て遺伝子の組み合わせが変化することを理解する。</li> <li>自然選択と遺伝的浮動によって遺伝子頻度が変化することを理解する。</li> <li>隔離を経て種分化が生じることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の形質の変化が、突然変異によって生じることを説明できる。</li> <li>減数分裂・受精を経て遺伝子の組み合わせが変化することを説明できる。</li> <li>自然選択と遺伝的浮動によって遺伝子頻度が変化することを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子の組み合わせの変化に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> <li>進化のしくみに関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>
主な評価方法		定期テスト	定期テスト レポート(実験含む)	出席態度 行動観察(実験含む)
その他				